

第1部 講演会 午後1時～4時

特別講演「中京デトロイト化計画とその帰結」 講師 牧 幸輝氏（立正大学経済学部准教授）

講演「名古屋オートバイ産業の盛衰」

講師 富成 一也（会員）

講演「戦後中部のモータリゼーション」

講師 八田 健一郎（会員）

第2部 中部産業遺産研究会 公開定例研究会 午後4時～5時

パネル展のリーフレットは

http://csih.sakura.ne.jp/panerutenn/panerutenn2017_tirashi_2017.10.24_print.pdf

からダウンロードできます。知り合いの方にもチラシをご案内頂けましたらと思います。

【3】オリバー・マイヤー先生の英語での講義が名古屋大学で開催されます【再送】

中部産業遺産研究会会員で、愛知教育大学教授のオリバー・マイヤー先生による産業遺産に関する英語での講義が開催されます。一般の方の参加が可能で、参加無料となっています。

ドイツご出身のマイヤー先生によるドイツと日本での産業遺産の保存と活用の事例についての英語での講義です。

講義タイトル 「Industrial Heritage in Japan and Germany」

日時 2017年11月30日 木曜日 18:30～19:30頃

場所 名古屋大学 全学教育教養教育院 1階 S1X教室

名古屋大学構内の地図はこちらから <http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/access.html>

参加費・申し込みは不要です。

マイヤー先生の講義の概要は次の通りです（原文のまま）。

“Industrial Heritage in Germany and Japan”

Germany and Japan both have a long history of industrial production. There is a lot of industrial heritage in both countries, some of which is only of interest for specialists, but other heritage sites have become major tourist attractions and can help to revitalize former industrial areas.

The presentation will show some industrial heritage, discuss the problems of preserving it, and show some successful examples.

日本語に翻訳すると

「ドイツと日本の産業遺産」

ドイツと日本はどちらも工業生産の長い歴史を持っています。両国には多くの産業遺産があり、そのうちのいくつかは専門家にとって興味深いものもあります。また、これらの遺産遺跡は主要観光スポットとなっており、かつての工業地域の再活性化にも寄与しています。

この講義では、いくつかの産業遺産の事例を示し、それらの保存についての問題を議論するとともに、いくつかの成功例を示します。

ご都合の付く方は是非ご参加頂けましたらと思います。

なお10月24日～12月12日の間に開催される全15回の講義のうち、7回以上を受講することで修了証書が発行されます。

詳細はこちらから。 <http://bio.nagoya-u.ac.jp/G30StadiumGenerale/>

また、マイヤー先生以外の先生の講義の詳細はこちらから（英文です）。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1UIg5Avaxhm6sb2yAH_oYhYaLlhksT6814g1YZzv8siY/edit#gid=0

【4】「土木技術者と学生の交流会」開催のご案内【再送】

名古屋工業大学において、「土木学会中部支部 平成29年度 技術者と学生の交流会

土木遺産をめぐるキミのドボク、ボクのドボク」と題した土木遺産をはじめとする土木構造物の魅力を紹介する学生によるポスターセッションが開催されます。

特に土木遺産に注目した学生によるポスターセッションです。

<https://jsce-chubu.jp/chubu/wp-content/uploads/2017/11/event-171113.pdf>
https://jsce-chubu.jp/for_public/171113

可能な方は是非、ご参加下さい。

【ご参考：ポスターの制作に学生が選んだ土木遺産ならびに土木構造物】

名城大：ハーバーブリッジ(シドニー)

豊田高専：百々貯木場(愛知県豊田市百々町1丁目81)

名工大1：庄内用水元杵樋門(愛知県名古屋市守山区大字瀬古字元杵30番2地先)

名工大2：旧稲葉地配水塔

名工大3：澱川橋梁(京都府京都市伏見区向島西堤町31-6)

名工大4：岩井橋の見込み(名古屋市中区)

名工大5：桃介橋(長野県南木曾町)

名工大6：松重閘門(愛知県名古屋市中川区)

名工大7：松重閘門(名古屋市中川区) (名工大6と名工大7は視点を変えた内容になる)

名工大8：木曾三川公園千本松原(岐阜県海津市海津町油島)

名工大9：向野橋(愛知県名古屋市中村区下米野町3丁目)

海岸研(名工大)：蜂屋調整池(岐阜県美濃加茂市山之上町)

名古屋工業大学などの学部の2年生が中心となってポスターを作っていますが、名古屋工業大学の学生は中部産業遺産研究会の「ものづくり再発見英文ガイドブック」を参考に産業遺産の調査、研究をしてポスターを作っています。

(中部産業遺産研究会から「ものづくり再発見英文ガイドブック」を名古屋工業大学都市工学科環境都市分野(昔は土木工学科だった)に100部寄贈しており、それが学部の教材として積極的に利用されています。)

中部産遺研の会員がポスターセッションに参加し、アドバイスをしあげることができれば、産業遺産に興味を持つ若い世代を増やすことにつながると思います。

ぜひ、ご都合のつく会員の皆様のご参加頂き、ポスターセッションに立つ学生に対するご意見を頂けましたらと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。
このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

<https://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。

その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。